

簡易仮想3次元空間を用いた 調べ学習支援システムに関する研究

広島市立大学 情報科学部

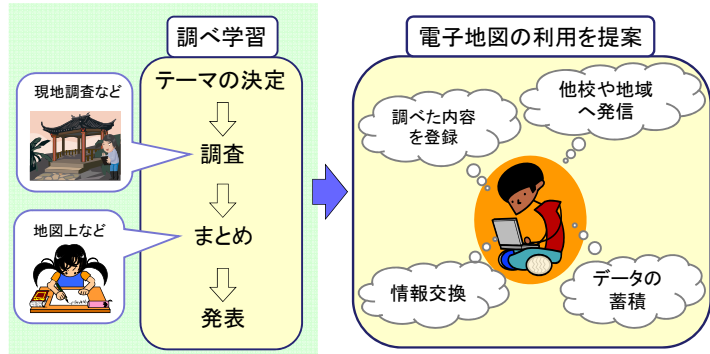
知能情報システム工学科 知識工学講座

研究概要

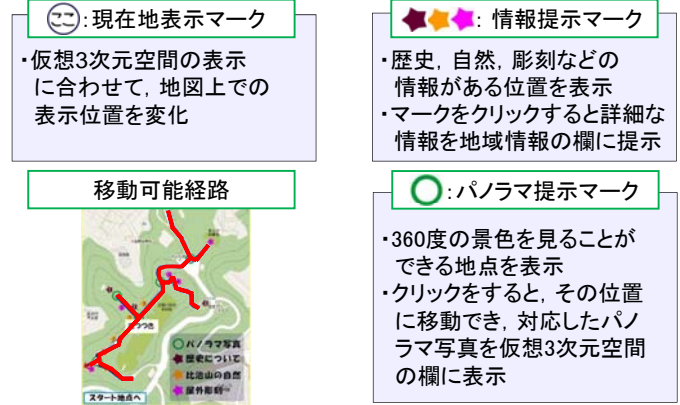
本研究では、デジタル写真を用いて構築する簡易仮想3次元空間を用いた調べ学習支援システムを提案し、プロトタイプシステムの開発を行った。評価実験より、学習への応用が期待できることや簡易仮想3次元空間の有効性を確認した。

1. はじめに

総合的な時間を活用して、地域を題材とした調べ学習の授業が行われている



4. 2次元地図



移動可能経路や仮想3次元空間と連動した位置の表示、情報提示可能な位置の表示

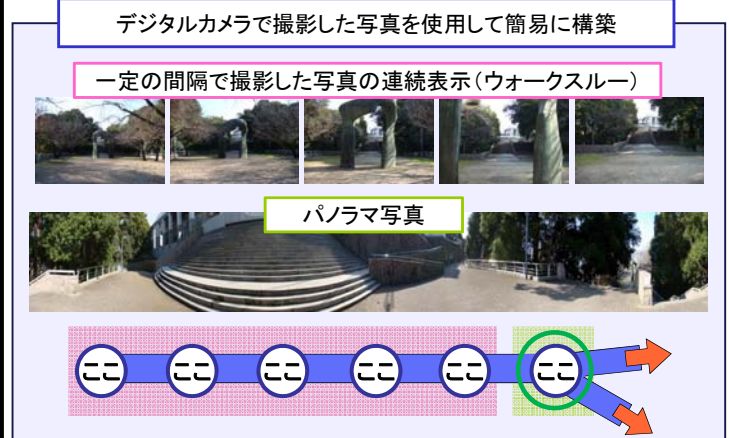
2. 研究の目的

異なる次元の地図を組み合わせた調べ学習支援システムの提案



両地図の利点を取り入れることで、地域の詳細な様子を把握しながら、必要な情報が得られる

5. 仮想3次元空間

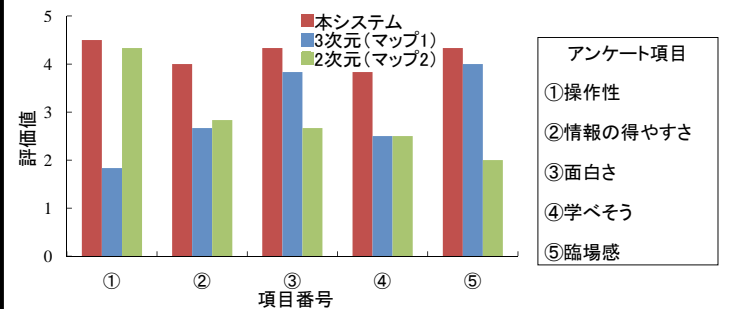


実際に歩いたりその場にいる雰囲気を与え、地域の詳細な様子の把握

3. システムの全体図



6. 評価実験とまとめ



3次元空間の特徴(③面白さ, ⑤臨場感)と2次元平面の特徴(①操作性)を持ち、従来の地図よりも情報の得やすさや学習への応用が期待できる

被験者の感想:実際に歩いているような感覚
簡易仮想3次元空間の有効性